

# 幻想書人



祝 第71回河北書道展漢字部（浪平一平隠蔽）

河北書道展規約には

本展は書道界の発展と向上をはかり文化の振興に寄与することを目的  
作品は自分で制作した近作を出品

解任は河北書道展の権威を損なう行為と記載がある

浪平さんは漢字部に一点自ら書いた作品を出品。これが正しい。

一平さんは他人が書いた作品をあたかも自分が書いたように出品

二平私も大友よ、あら私も大友よ、三平も大友よ、四平も大友だって、長生きに失敗した  
五平も。いったい何人同じ人が書いた作品を出品、社中団体組織的。同一社中団体の特別  
賞審査委員が選んでいるのよ。師匠が書いたかわからないのよ。板橋煌陵だけ見抜いてい  
るわ。過去に不正を告発した匿名さん、阿部さん、煌陵もいるけど企画運営委員長でない  
し、審査委員長も動かないし、河北新報様も動かない、スクープなのにね。他報道機関も  
動かない（クロスオーナーシップ）大丈夫バレない心配ないわ。このような会話が  
が・・・・・・・・聞こえてしまう。

河北書道展の賞状は河北新報社代表取締役社長一力雅彦様から受賞者に授与。

代表取締役ですよ。事業局事業部役職者社員が犯罪を知りえたならば速上司に報告、これ  
が組織としての会社では、代表取締役社長がかわいそう。審査は過程にしか過ぎない正しい  
審査をしないと、日当お金いただくのよ。

過去の漢字部作品が証拠となり生涯語り継がれていく卑劣な犯罪と言える。

危機管理のなさ、調査もない、報告もない、報道もない。

真面目に自らの作品を出品している個人社中団体、お金を出して展覧会をご覧いただい  
ている一般市民に対して主催者はじめ委員長企画運営委員の皆様、期待と信頼を大きく裏  
切る行為です。犯罪は早い対応が必要です。

今年も河北書道展図録は事業局事業部に2冊返納しました。

最後に第71回漢字部企画委員、審査委員、審査会員で煌陵いつの間にか最古参の出品  
者になりました。

2024年9月30日 板橋 煌陵